

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	桃山学院和泉キャンパス新校舎建設	階数	地上3F
建設地	大阪府和泉市まなび野	構造	木造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法第2	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年9月19日
敷地面積	39,699 m <sup>2</sup>	作成者	岡本 真一
建築面積	846 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,219 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	113%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	1.8
温熱環境	3.1
光・視環境	2.7
空気質環境	3.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.0
耐用性	2.9
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.7
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.3
地域環境	3.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	LED等の高効率機器を採用し、屋根には太陽光パネルを設けることで、省エネ性の高い建築物とした。	その他 特に無し
<b>Q1 室内環境</b>	居室内には、F☆☆☆☆の建材及び吸音性能に優れた部材を採用することで、快適な室内空間となるように配慮した他、自然通風が十分に確保できる大きさの窓を設けた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 既存敷地も含め、敷地内には可能な限り緑地を設けた。また、通りから見える窓に面して木製ブレースを配置し、周囲の樹木と建物が調和するように配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	BPI <sub>m</sub> =0.58	<b>LR3 敷地外環境</b> 大気汚染防止に配慮し、ガス給湯器等の燃焼機器は採用していない。
<b>Q2 サービス性能</b>	壁長さ比率を低く抑え、階高を高く確保することで、将来のプラン変更等にもフレキシブルに対応可能な計画とした。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水機器及び特定調達品目対応の部材を選定することで、省資源化に寄与した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0078

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	桃山学院和泉キャンパス新校舎建設工事					
		建設地	大阪府和泉市まなび野					
		用途/区分	学校(大学等)					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告						
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.3	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.7	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		LED等の高効率機器及びLOW-Eガラス等の建築的手法も取り入れることで、省エネルギー性の高い建築物となるように配慮した。						